

盛岡市こども科学館 科学技術週間工作教室の実施
HRSB エネルギー研究活動助成活動報告

実施担当 岩手大学 理工学部 高木浩一

平成 30 年 4 月 22 (日) 日に、盛岡市子ども科学館において、サイエンスショーの形で、科学教育を行った。盛岡市子ども科学館への来場者を対象として、エネルギーに関する興味・関心を持ってもらうことを目的とした。サイエンスショーでは、「電気(静電気)の発生」「人工カミナリの発生」「人工カミナリを用いた環境浄化(電気集塵)」の実験を行った。特に、テスラコイルから放射される電磁波による蛍光灯の点灯や、マルクス発生器を用いた大電力でのかみなり発生など、強い興味を示していた。当日は午前・午後
に 1 回ずつサイエンスショーを実施し、他の時間は、手回し発電機を用いた小型電気自動車の走行、白熱灯や LED を用いた光の発生、ペルチェ素子を用いた熱の発生について、体験してもらった。1 回のサイエンスショーへの来場者は、子どもだけで 30 人強程度である。

